

緊急腹腔鏡下手術(嚢腫核出術・付属器切除術・筋腫核出術・子宮内膜症病巣除去術・癒着剥離術・子宮外妊娠術)を受けられる方へ

患者ID: 病棟: 主治医: 担当医:
氏名: 受持看護師:

	手術当日	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	退院前日	退院
目標	体温・血圧・脈拍が安定している。 お腹の管から出る液の色・量が正常である。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。	痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 病棟内歩行ができる。 お腹の管から出る液の色・量が正常である。 傷から血や液が出ていない。		痛み止めを使い痛みをやわらげます。 傷に、赤み・腫れ・痛みがない。	傷に、赤み・腫れ・痛みがない。 退院後の生活の注意点が分かる。	
説明	(担当医より) 手術の結果について説明します。 	 医師の記入が必要な書類などありましたら、平日日中に1階玄関ホールにある診断書受付までお出してください。		 何でもご相談ください	(看護師より) 退院後の生活について説明します。 (主治医より) 退院後の外来受診や服薬などについて説明します。	
検温	帰室時 1、2、3、6時間後 それ以後翌日6時まで4時間毎 	 4回	4回	1回	1回	
排泄	尿道留置カテーテルから自然に尿が出ます。	動けるようになったら、尿道留置カテーテルを抜きます。 病棟内トイレにて排泄します。 尿量測定を続けてください。		尿量測定は15時で終了です。		
処置	酸素を付けて帰室します。 背中に痛み止めのチューブ、お腹にドレーンがつく場合があります。 点滴は主治医の指示あるまで持続します。	採血、採尿があります。 朝、酸素投与を中止します。 動けるようになったら、弾力ハイソックスを脱ぎます。 医師の診察があり、創の消毒をします。 点滴は夕方まで持続です。 	医師の診察の後に、お腹のチューブを抜きます。 痛み止めがなくなれば、背中に入っている痛み止めのチューブも抜きます。	採血、採尿があります。 	創部の抜糸がある場合があります。 医師の診察があります。	
投薬	喉の痛みに対し、トローチを渡します。 					
安静	ベッド上で過ごします。 膝を立てたり寝返りをすることができます。 起き上がることはできません。	病棟内トイレまで歩けます。 最初は看護師が傍で見守ります。	病棟内は制限ありません。	院内は制限ありません。		
食事	食事水分も摂ることはできません。 ベッドに寝たままうがいをするすることができます。	朝から水分開始、昼から重湯が開始です。 	朝・昼が5分粥、夕から全粥になります。 	昼から普通食になります。 		
清潔		体を拭いてお下も洗います。 お手伝いしますが、出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 着替えもします。	体を拭くタオルをお持ちします。 出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットをご使用ください。 	シャワー浴開始です。 		